

ははたき

社会医療法人財団 日十字会ホームページ

<http://www.hakujyukai.or.jp>

はばたき第26号 ● もくじ

■ リウマチ・膠原病センターでの
取り組み VOL.2 ②

■ 佐世保中央病院 臨床検査技術部が
県内で初めてISO15189認定を取得しました ③

■ 最新!! 医療機器 管腔内超音波検査 ③

■ ふれあい健康
フェスタ2012を
開催しました ④

■ 新任Dr.の紹介 ⑤

■ 臨床工学部について ⑤

■ ホームページを
リニューアルしました! ⑥

■ ご意見箱より ⑦

■ 外来患者様 満足度
アンケート調査から ⑧

■ 認知症市民公開講座 ⑨

■ 佐世保中央病院 小児科医と話そう ⑨

■ 外来診療担当表 ⑩



ふれあい健康フェスタの様子
(関連記事は4ページ)



基本理念

患者様が一日も早く社会に復帰されることを願います。

基本方針

1. 患者様の権利を尊重し、患者様中心の快適な療養環境を提供いたします。
1. 地域医療機関との連携に努め、市民のニーズに合った診療活動を展開することにより、社会に貢献できる病院を作ります。
1. 職員の総和をもって納得の医療を推進し、患者様から安心され信頼され、愛される病院を作ります。
1. 最新の医学情報と医療設備を導入し、日進月歩の医学に正面から取り組みます。
1. 病院人として社会人として、信頼される人格をもった責任ある人間を育成いたします。
1. すべての職員にとって、かけがえのない価値ある職場であるよう努力いたします。

患者様の権利と義務

1. いかなる差別もなく公平な医療を受けることができる。(受療権)
2. 自身の症状・診断・予後・治療などについて、納得できる説明を受けることができる。(知る権利)
3. 医療者の提案する診療計画など自らの意思で決定することができる。(自己決定権)
4. 個人情報やプライバシーを保護される権利がある。(プライバシー保護権)
5. 他施設の医師に相談することができる(セカンドオピニオン権)
6. 医療者に対し、自身の健康・病状に関する情報を正確に伝える義務がある。(情報提供義務)
7. 病院業務に支障をきたさないよう協力する義務がある。(診療協力義務)

リウマチ・膠原病センターでの取り組み VOL.2

佐世保中央病院 院長 リウマチセンター長 植木 幸孝

リウマチ・膠原病センターでの取り組み(リウマチ地域連携) その1

長崎県は、8の二次保健医療圏に分かれています。医療の専門分化が進む一方で、専門医の偏在も進行しています。だからこそ、中核病院から離れた地域で生活する人たちにも均質な専門医療を提供できる体制を作ることが、長崎県における地域医療の大きな課題となってきました(図)。



長崎県の地形は、大村湾をぐるりと取り囲む一方で、南東には島原半島が伸び、西の海には五島列島、北の海には対馬や壱岐といった離島がある。典型的なリアス式海岸であるため、海岸線は入り組み、内陸部はほとんどが山岳・丘陵となっており、町と町を結ぶ道路は直線距離以上に長い。

わが国の関節リウマチ患者さんは、約70-100万人と推定されています。その患者さんの多くは20代から50代の働き盛りに発病し、進行と悪化を繰り返しながら痛みと身体機能の低下の中で長期間の療養生活を余儀なくされています。これまでリウマチは治らない病気と位置づけられてきましたが、近年の医療の飛躍的な進歩に伴い、リウマチ患者さんの治療環境は大きく変化し、特に生物学的製剤の登場により、これまで痛みの軽減や炎症をコントロールする対象療法から、寛解(治ってしまった状態)を目指す治療に変わってきました。特に、海外では早期に生物学的製剤で治療することにより、完全に治癒に至る患者さんも紹介されています。また最近の研究により、リウマチは発症早期(2年以内)に急激に関節破壊が進行しその後、徐々に進行する事が明らかになり、リウマチの治療は、いかに早期の患者を発見し、適切な診断と適切な治療を行うことへと進展しています。

しかし、リウマチ発症早期に適切な治療を受けられず、症状が進行した患者がやむを得ず遠方の専門施設の定期的な受診を強いられ、治療費以外の費用も負担を強いられている現状があります。しかし、リウマチの基本的薬剤であるメトトレキサートが承認されたのは1998年であり、診断基準の見直しがなされたのも2年前です。歴史の浅さが、リウマチ治療の地域連携への取り組みを遅らせてきたと思います。そしてリウマチ専門医が少ないことも大問題です。リウマチ患者さんは意外に多く、100-200人に1人は発症すると言われていいます。重要なことは、リウマチは発症すれば必ず症状が表出し、通院・加療が必要になるということです。つまり、「有病率=治療が必要な患者」であり、佐世保市の人口26万人に対し、約2600人の患者さんを診療しなければなりません。とても、専門医だけで対処できる数字ではないのです。

(次号へつづく)

佐世保中央病院 臨床検査技術部が 県内で初めて[ISO15189]認定を取得しました。

ISOとは？

ISO(国際標準化機構)は様々な製品やサービスに対し、国際的に通用する規格や標準類を制定するための国際機関です。発行されている規格の中で、よく知られているものにISO9001(品質マネジメントシステム)、ISO14001(環境マネジメントシステム)等があります。

ISO15189とは？

ISO15189は臨床検査室に特化した品質マネジメントシステムの国際規格で、正式にはISO15189:2007「臨床検査室—品質と能力に関する特定要求事項」という名称です。品質マネジメントシステムであるISO9001に加え、検査技術の力量を含む臨床検査室特有の要求事項から成ります。規格は組織運営、文書管理、人材育成、業務改善から実際の検査作業工程の細部にわたり、要求事項が定められていて、それらを満たすことによって自ずと質の高い臨床検査室の構築が可能となります。

当院においては1年間の準備期間の後、平成24年3月14日に長崎県で第1番目(全国65番目)に認定が承認されました。国際規格の認定検査室である当院臨床検査技術部で測定された検査データは、国際的にも通用するものです。

臨床検査技術部部長 丸田秀夫



最新!! 医療機器

管腔内超音波検査(IDUS: intraductal ultrasonography)

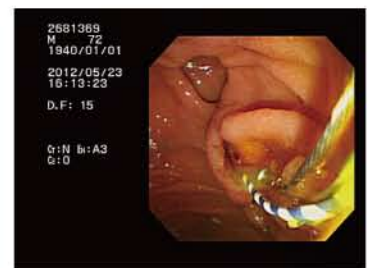
消化器内視鏡科 医長 松崎 寿久

もともとは血管内用が開発されたものを消化器領域(膵臓胆道領域)に応用したもので、内視鏡下に胆管や膵管に細長い管状の超音波端子を入れ、精細な画像を得る検査方法です。超音波端子が病変に近いこと、超音波周波数が高いことなどから多くの情報が得られます。とくに膵・胆道腫瘍の良悪性の判断、また胆道結石については造影だけでは指摘困難な微小結石や胆泥が検出可能です。

当院では膵臓癌や胆道癌、総胆管結石などの膵・胆道疾患に対する内視鏡検査が年間200件程度おこなわれております。今後はこの装置を導入し、さらなる検査精度の向上に努めていきます。



▲[造影]胆管の直接造影では明かな結石を認めなかった。



▲[EST]ESTを行いバスケットでかき出すと、小結石とdibris(胆泥)が採石された。



[IDUS]下部総胆管に小結石とdibris(胆泥)が疑われた。

ふれあい健康フェスタ2012を開催しました

ふれあい健康フェスタ 実行委員 今里 孝宏

去る、5月12日(土)、当院におきまして、ふれあい健康フェスタ2012を開催いたしました。このイベントは、近代看護の礎を築いたナイチンゲールの生誕月である5月に、「看護の日」として4年前より毎年開催しており、本年は12日開催ということで、ちょうど生誕日での開催となりました。イベント内容としては、例年実施している健康講演、健康体操、ミニコンサートに加え、血管年齢、肺年齢、血糖・血圧などの様々な検査を実施しました。今回の健康講演は、当院認知症疾患医療センターの井手芳彦先生に「もの忘れは歳のせい?～認知症を正しく理解する～」のテーマでお話し頂き、お話しの途中で参加者へのクイズも出題され、分かり易くご講演いただきました。全参加者のうち約9割の方に健康講演にご参加いただき、皆様の認知症に対する関心の高さが伺えました。また、各専門職種(看護師、保健師、管理栄養士、臨床検査技師、放射線技師、薬剤師、理学・作業療法士、ソーシャルワーカー等)が工夫し、参加者が興味を引くような内容とブース設営で参加者の皆様に楽しく体験、多くのご相談もお寄せいただきました。当日は、近隣住民の皆様を中心に約100名のご参加いただき、お陰さまで盛会のうちに終了することが出来ました。来場された方々を対象にしたアンケート調査結果では、継続開催を望む声が寄せられており、これからも地域に根ざした健康イベントとなるよう取り組んでいきたいと考えております。今後も、ご支援・ご協力のほど、宜しくお願いいたします。



認知症疾患医療センター
井手芳彦先生より
「もの忘れは歳のせい?」
の講演





新任Dr.の紹介



①診療科 ②出身大学 ③卒業年 ④出身医局 ⑤認定医、専門医などの種類(学会名)

③医師を志したきっかけを教えてください。また、この科を選んだのはなぜですか？ ④趣味、または特技を教えてください。⑤自己PRをお願いします。⑥最後に患者様へ何か一言お願い致します。



なかじ しゅん
中路 俊 Dr.

- ① 心臓血管外科(常勤)
- ② 長崎大学
- ③ 平成14年卒
- ④ 長崎大学 心臓血管外科
- ⑤ 日本外科学会 外科専門医

③医師である父を目標としました。学生の時に祖父が冠動脈バイパス術を受けたことが、心臓血管外科を選ぶきっかけとなりました。④ドライブ・ゴルフ・テニス ⑤佐世保中央病院に勤務させていただくのは2回目になります。以前よりも治療に貢献できるよう頑張ります。⑥受診してよかったと思ってもらえる治療を心がけて診療にあたりますのでよろしくお願いします。

病院のお仕事紹介

臨床工学部について

臨床工学部 早岐 美香

●臨床工学技士とは

医師の指示のもと、人の呼吸・循環・代謝機能を代替、補助する生命維持管理装置などの医療機器の操作、保守点検を担当する技術者のことでME(Medical Engineer)や、CE(Clinical Engineer)と呼ばれます。

●当院の臨床工学技士について

平成21年4月より臨床工学部と部門名を変更し、現在男性6名、女性4名の計10名の臨床工学技士が在籍しております。近年の高度先進医療の目覚ましい発展と共に医療機器も複雑化・多様化しており、我々臨床工学技士が医療機器の購入から運用、廃棄まで一貫して管理を行い、患者様はもちろん、現場のスタッフにも安心して頂ける医療機器の提供・臨床技術の提供・現場スタッフへの教育などを行っております。



ホームページをリニューアルしました！

広報委員会 ホームページ担当 濱田

今年4月に佐世保中央病院のホームページをリニューアルしました。

従来のホームページは、①トップページのデザインに統一性がなく見にくい②必要とする情報が見つかりにくい③重複しているページがあるなどの課題がありました。今回のリニューアルではそれらの課題に重点的に取り組みました。また、親しみを持っていただけるように、できる限り職員の写真を多く使用しました。一部モデルの写真もありますが、そのほとんどが院内で実際に勤務している“職員”です。

ホームページでは、外来受診や入院に関する情報だけでなく、イベント情報など、病院の様々な取り組みもご紹介していますので、ぜひ一度ご覧ください。

また、「佐世保中央病院公式facebookページ」ではさらにタイムリーな話題を提供しておりますので、そちらもチェックしてみてください。





「立体駐車場」に関するご意見について

①身体障害者用がいつも満車ですが、公用車スペースは1階でないといけないのでしょうか？

公用車につきましては、管理上の観点から必要最低限の車輛のみを駐車しております。また、身体障害者駐車スペースに健常者の方が駐車されている場合があり、一般駐車場への駐車を促しておりますが、改善には至っておりません。利用される方のモラルの問題もありますが、今後とも対策を検討してまいります。

②1階エレベーターの階段については、幅を広くしたり、スロープを設置するなど改善を図ってほしい。

ご指摘の件につきましては、以前にも同様のご意見をいただき検討いたしました。構造上(スペース等)ならびに費用の面で抜本的な改善には至りませんでした。

しかしながら、当院といたしましても利用される方が少しでも利用しやすいような対策を引き続き検討してまいります。

「診療予約時間の考え方ならびに北口EVへの椅子等」に関するご意見について

①患者さん一名当りに、何分間の診療予約枠を設定しているのでしょうか。また、診察の進行状況の表示が正確ではない。

患者様一名分の診察時間ならびに30分間の枠の設定は、担当医師自身によって設定しております。担当医師としても予約通りの診察ができるよう努めておりますが、診察状況によっては長くお待ちいただいている状況が発生しておりますので、改善できるよう指導してまいります。また、診察の進行状況については、正確な表示となるよう指導してまいります。

②北口エレベーター1階付近に椅子を設置して欲しい。また、内科診察室のベッドが高くて横になるのが大変です。

ご指摘の件につきましては、北口エレベーターの地下2階ならびに1階に椅子を設置いたしました。また、現状の診察室のベッドにつきましては、高さ調節機能がございませんので、設置費用等を考慮した上で設置可能か検討してまいります。

「1階中央エレベーター前のトイレ」に関するご意見について

1階中央エレベーター前の女子トイレの設置数が少ないのではないのでしょうか？

ご指摘の件につきましては、構造上の問題等により、増設は困難であると判断いたしますが、ご指摘にもございました通り、職員の利用につきましては、見直しが必要であると考えますので、いただきましたご意見を基に改善を図ってまいります。

外来患者様 満足度 アンケート調査から

昨年度おこなわれた外来患者様満足度アンケート調査から自由意見の一部をご紹介します。

放射線技師へ頂いたご意見より

患者様より

CT撮影自体は早く終わったが、検査結果待ちに約60分と記載があるにも関わらず2時間待たされた。少々待ち時間が長いのではないかな？

病院より

診療科や検査内容などの詳細はわかりかねますが、通常CT検査終了後1時間程度で、放射線科医師が検査結果を作成します。しかし、緊急の検査(血管内治療など)が入った場合やCT検査数が多い場合は、1時間以上お待たせする場合もございます。

このような場合は、検査結果が遅れる旨を患者様へお伝えするようにしておりますが、説明が徹底されていなかったものと思われまます。今後、このようなことがないように再指導してまいります。

検査技師へ頂いたご意見より

患者様より

血液検査がアルファベット表示で、何の検査結果かわからないため、日本語表示にしていきたい。

病院より

採血コーナーに日本語に置き換えた説明用紙を備え付けておりますのでご利用ください。

外来での呼び出しについてのご意見より

患者様より

名前をあまり呼ばれたくないので、番号で呼んでいただき、後から本人へ名前確認をしていただきたい。

病院より

ご提案ありがとうございます。患者様の個人情報保護の観点から、ご提案の方法につきましても今後導入する検討を続けています。

しかし、現在のところ、総合案内窓口ではすでに会計番号や処方箋番号を使用しているため、混同しやすいこと、各外来窓口では時間帯予約制との兼ね合いで混乱が予想されること、いずれの窓口におきましても、病院の特性としてお身体の不自由な患者様が多く、番号を聞き間違われた場合に患者様へのご負担が大きいこと等、導入にあたって解決しなければならない問題点が多く、お名前をお呼びする方法を続けている次第です。



認知症市民公開講座

日時 2012年8月25日(土)14:00～16:30(2時間30分)予定

場所 アルカスSASEBO中ホール(500名会場)

演題① 15分 講師:佐世保中央病院 認知症疾患医療センター 井手 芳彦
『佐世保・長崎県北における認知症疾患医療センター 3年間の活動報告』

演題② 20分 講師:平成病院 院長 坂本真一 先生
『認知症とは?(仮)』

演題③ 45分 講師:NR Nursing Resource代表 馬場先 淳子 氏
『認知症の介護・看護(仮)』

休憩 15分

特別講演 40分 講師:平成病院 院長 坂本真一 先生
『認知症診療における地域ネットワーク(仮)』

パネルディスカッション 15分(井手、馬場先氏、坂本氏)

司会進行:佐世保中央病院 濱田 太一



共催 | 長崎県指定認知症疾患医療センター、長崎県北認知症研究会、エーザイ(株)、ファイザー(株)

後援 | 佐世保市、長崎新聞社佐世保支社、西日本新聞社佐世保支局、社団法人長崎県老人保健施設協会、社団法人長崎県看護協会、長崎県グループホーム連絡協議会、認知症家族会はなみずき、佐世保市医師会、佐世保市薬剤師会

佐世保中央病院 小児科医と話そう!

平成24年度 年間予定	平成24年 4月19日	小児の長引く咳や痰 ～ぜんそくを中心に～
	5月17日	川崎病のトピックス ～新しい治療と検査～
	6月21日	小児の肥満症 ～こどもの“生活習慣病”～
	7月19日	小児の食物アレルギー ～診断と適切な食事療法～
	8月16日	(お休み)
	9月20日	小児喘息との付き合い方 ～発作への対処法～
	10月18日	小児の成長障害 ～背が伸びない子どもに見つかる病気～
	11月15日	小児の急な症状 ～病気になる前に知っておきたい～
	12月20日	小児の栄養学 ～こどもを健やかに育てる食事～
	平成25年 1月17日	小児の予防医学 ～こどもに必要なワクチン～
	2月21日	小児の事故予防 ～家庭内外の安全環境を見直そう～
	3月21日	小児の成長と発育 ～発育の見方と必要な栄養～

日時 毎月第3木曜日13時から14時

場所 佐世保中央病院5階第2講義室(中央エレベーターで5階に上って左)

対象 保護者の皆さん(お子様同伴可、ただし人数に制限があります)

参加費 無料(駐車無料。車でお越しの方は、駐車券をお持ちください。)

内容 ①医師によるレクチャー ②Q&A

表にあるテーマは現時点での予定です。

その時々トピックなどに応じて1ヶ月前までに内容を変更する場合がありますので、

お電話でお申し込みの際にご確認ください。

佐世保中央病院・小児科外来(病院代表 0956-33-7151)

ご来場をお待ち
しています。



外来診療担当表

全診療科予約制

平成24年 7月1日現在		月		火		水		木		金		
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科	呼吸器	小林		大島				小林				
	内分泌							安部(非)(再)	大財(非)	藤山(非)		
	骨代謝										藤山(非)	
	腎・透析		浪江						浪江(再)	林(非・再)	林(非・再)	
	神経内科	竹尾(再)		竹尾(再) 岩本 (長崎大学担当区)		竹尾		吉村(非)		竹尾(再)		
	リウマチ 膠原病 センター	新患	一瀬		岩永	岩本		寺田	岩永		岩永	
		再来	植木		岩永	岩本		寺田	西野		寺田	
糖尿病 センター	新患	藤島				西野				植木		
	再来	松本		松本・藤島	尾崎	藤島	松本	松本・藤島		尾崎		
循環器科	新患	木崎		矢野(非)		中尾(功)		木崎		矢野(非)		
	再来	赤司		中尾(功)・高原・矢野(非)		木崎・赤司		中尾(功)		木崎・矢野(非)		
消化器科	(消化管)	山道		松崎	富永(再)・竹島(再)	小田	磯本(非・隔週)	小田		大石		
	(肝胆膵)	草場		木下		松崎		山道		木下		
人工透析センター		浪江・林	浪江・林	浪江	浪江	浪江・林	浪江・林	浪江	浪江	浪江・林	浪江・林	
外科	新患	梶原・重政	※	草場	※	碓	※	武岡	※	佐々木・羽田野	※	
	再来	碓				菅村		重政		碓		
	特別顧問外来	國崎		菅村		梶原						
脳神経外科	阪元	※	※	※	阪元	※	※	※	阪元	※		
心臓血管外科	吉野			衛藤						吉野		
	※	※	柴田	※	※	※	※	柴田	※	※	※	
皮膚科	山口	※	山口	※	山口	※	山口	※	山口	※		
小児科	山田	循環器外来 (第1,第3,第5週)	山田	乳幼児健診・予防接種	山田	アレルギー外来 (山田)	アレルギー外来 (第4週休診)	山田	アレルギー外来 (第4週休診)	山田	乳幼児健診	
	犬塚	心身症外来 (第2,第4週)	犬塚	神経外来 (第1週休診)	犬塚	心身症外来	犬塚	神経外来	犬塚	生活習慣病外来 (隔週)		
泌尿器科	新患	徳永	※	南	※	徳永		南	※	徳永	※	
	再診	南		徳永		南	南(前立腺)	徳永		南		
眼科			上松(非)									
耳鼻咽喉科	大里	※	大里	※	大里	大里	大里	大里	※	大里	※	
放射線科	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	
	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	
放射線治療計画					山崎	山崎						
救急総合 診療部	内科系	木下・大島・中尾	高原	尾崎	担当医	山道	担当医	赤司	岩永	西野	大島	
	外科系	担当医										
メモリークリニック(もの忘れ外来)	井手		井手		井手		井手				井手(再)	
専門外来	インターフェロン(新患・紹介のみ) 木下 14:00~16:00 ペースメーカー 木崎・中尾(功) 第2,第4日曜日14:00~16:00 乳腺 佐々木 第2,第4日曜日14:00~17:00		ストーマ 重政 第2火曜日 14:00~16:00 禁煙 菅村 14:00~17:00 ステントグラフト外来 谷口 13:00~14:00		乳腺 碓 14:00~17:00 禁煙 菅村 14:00~17:00		CAPD 林和 (4週1度・再診) 14:00~15:00 下肢静脈瘤 柴田 14:00~15:00 睡眠 植木 9:40~10:30 (第3)		乳腺 佐々木 13:30~16:30			
	健康増進センター	寺園		寺園		寺園		中尾		寺園		
乳がん検診	板倉		野々下		山本		寺園(治)		松永・葉師寺			
	佐々木		碓		佐々木		碓		武岡			
健診婦人科(特別顧問外来)	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸		

※医師の出張等により、休診する場合がございます。受診ご希望の方は予約をお願いいたします。

受付時間 8:30~11:30 / 13:30~16:30

(専門外来・紹介のみ)

診察時間 9:00~12:00 / 14:00~17:00

(専門外来・紹介のみ)

土曜日は、休日診療体制とさせていただきます。

☆:救急部24時間体制 * :当番医 (非):非常勤 (再):再診

※:主に手術・検査の予定ですが、予定が無い場合は診察いたしますのでご確認ください。

すべての診療科において時間帯予約制をとっております。受診を希望される場合は、コールセンターへ事前にご連絡いただき予約をお取り下さい。

受付時間 月~金曜日 8:30~17:30

予約専用電話番号 0800-7000-888 (通話料無料)

医療機関からの紹介状をお持ちの方は TEL/FAX 0120-33-8293 地域医療連携センターまでお願い致します。(土曜日の8:30~12:30も受付けております)